

助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人 全日本育児普及協会

代表者・役職名 氏名 佐藤士文

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

防災紙芝居の読み聞かせと防災講座の開催

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

子育ての楽しさを広めることで、児童虐待を減らし、幸せな家族を増やすことを目的に、2012年8月、地域の父親たちが集まり設立されました。現在は50人ほどの会員が在籍中です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

公園や学童は、地域の親子が集う場所であり、多くの方に「多世代にわたり楽しんで防災を広めている」この取り組みを見ていただくことで、地域参加のきっかけづくりを行います。又、父親たちが行うこの活動は、男女共同参画という面においても話題性があるので、多くのメディアへ露出することで、さらなる防災活動の普及が期待できます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

防災を子どもに楽しく伝えることができる当法人オリジナルの紙芝居「おもしろ!ぼうさいかみしばい」を、小学校の朝の読み聞かせや、放課後の学童、保育園などに地域の父親が読み聞かせに行きます。読み聞かせで子どもたちの笑いを誘った後は、大人にも子どもにも分かりやすい防災プチ講座を行います。又、その後に防災の知識に長けた講師が、その施設の防災具合をチェックして、施設担当者へ防災に関するアドバイスをお送りします。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

10回の読み聞かせと講座を行い、100人以上の参加者を得ることができました。参加した子どもからは笑顔をもらい、大人からは「大変参考になった。自分も読み聞かせを始めたい」という有難い評価をいただきました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

すでにホームページで紙芝居を公開しており、どなたも無料でダウンロードできますので、この取り組みを全国的に広めていきたいです。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

朝日新聞に掲載されました。



た。